

# うえすとさいど

## そだちの家まちかど事業終了 4年半の軌跡

そだちの家まちかどは2021年10月に開所しましたが、この度3月31日をもって放課後デイサービス・児童発達支援事業を終了することといたしました。本法人は一貫して「地域に根差す活動」をめざし、そだちの家まちかども地域の子もたちとの交流と利用児の社会参加を目的に活動を続けてまいりました。個別療育に偏った支援ではなく、みんなで過ごす時間と空間を大切にしていたことから、どちらかといえば平日よりも土曜・夏休み等の長期休みの利用が多いという傾向が強く、子どもたちにとっては居心地がよく楽しい時間を過ごすことができていたように思います。利用児は比較的軽度の子どもが多いことや、地域から遊びに来る児童の中にも発達の課題のある子どもが結構いることなど、事業をすすめてみて改めて理解できたことも多々あります。

放課後デイサービス・児童発達支援を閉所する理由は種々ありますが、人手不足と賃金高騰による収支悪化で、子どもたちに満足してもらえるような活動を継続することが難しくなったことが一番大きな理由です。

本法人としては、ふせまちかど相談所の相談事業に一本化したうえで、あらためて「地域に根差す活動」を模索していきます。法人事業としてのバリアフリーな街ふせのイベント開催、この「うえすとさいど」発行事業は従来通りに継続してまいります。それに加えて、そだちの家まちかどの建物はそのままお借りして、新たな形で「地域に根差す活動」を事業展開していこうと思います。

4年半という短い間ではありましたが、そだちの家まちかどを支えていただき、心より感謝しております。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。  
代表理事 前川 敦



### 開所から

契約利用児童数  
39名  
地域来所児童数  
約50名

### スタッフ等関係者

常勤職員：6名  
非常勤職員：26名  
実習生：9名  
ボランティア：約50名



# 「そだちの家まちかど」から、新たな道をあゆむ



「そだちの家まちかど」を始めて4年半。振り返ればあつという間でした。子どもたちと関わる仕事が初めてだったので、最初は子どもたちの遊びや流行が分からず戸惑った覚えがあります。真剣に向き合い、多くのコミュニケーションを取り、話を聞くこと、宿題や遊び等一緒に時間を全力で楽しむことで、信頼関係を築き、子どもたちの悩みや考え方をたくさん知ることができました。子どもたちなりに真剣に悩んでいることがあり、それを大人に解決してほしいばかりではなく、話を聞いてほしい思いも強いのだなと感じました。子どもたちの想像力、力にも驚かされることも多く、これからしんどいこと、悩むこともたくさんあると思いますが、乗り越えていく力はあると思います。まわりの大人たちを巻き込んで、がんばってもらえたらと思います。子どもたちの笑顔に励まされることも多く、4年半、貴重な時間を過ごさせて頂きました。本当にありがとうございました。数年後、同窓会をして、成長した皆さんに会いたいなと思っています！



やまちゃん  
(山形久美子)

私は立ち上げの時から勤務させてもらい4年半という時間をそだちの家まちかどで過ごさせてもらいました。「最後までみんなと笑って過ごすこと」が開所した時からの1つの目標でした。1日1日ほどまで笑えていたかは分かりませんが、さびしい気持ちよりも楽しかったという気持ちが強くあります。多くの方と関わり、支えてもらいました。たくさん思い出のどこを切り取っても感慨深く思います。そして感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



きゅーちゃん  
(佐川高央)

大学生のアルバイトの頃から、そだちの家に関わることができ、たくさん子どもたちとともに遊び、成長できた日々がとても楽しかったです。最初は不安と緊張でかたかった子どもたちの表情が日に日にやわらかくなって、「ただいま」から始まり「楽しかった〜」「帰りたくない！」と言いながらニコニコと帰っていく子どもたちがいっぱいの毎日でした。好きなことを伸ばしてできるようになったことが増え、苦手なことにヘルプを出すことができるようになった子どもたち。私自身も日々子どもたちの可愛くてクスッと笑ってしまうような、視点・姿・言動に学ばせてもらうことがたくさんあった4年半でした。これからも子どもたちが素敵な未来に向かってのびのびと自由にそだっていけますように。私自身も支援者としてこれからも学んで成長できるように精進いたします。



おひか  
(川本光璃)

私は1年間という短い期間でのかかわりでしたが、日々の積み重ねの中で心身共に大きく成長する子どもたちの姿にたくさんの刺激をもらい、そだちの家の子供たちと過ごした時間は私にとって大変貴重な財産となりました。子どもたちと一緒に積み重ねたこの1年間の経験を、今後の自身の業務にもいかしていきたいと思っています。短い間でしたが本当にありがとうございました。



はなちゃん  
(西嶋花恵)

## ♥♥イベント・研修案内♥♥

### ★One Marche~100円商店街

2026年4月11日(土) 10:00~16:00

主催:東成しんみちロード 場所はこちら→

ワンコインで世界のグルメが楽しめる

カラドルも来るよ

### ★アミューフェスハワイ

2026年4月25日(土) 12:00~16:00 大蓮東公園

ハワイアンミュージックとハワイの文化で

「ここはまるでハワイ」案内はこちら→

主催:一般社団法人アミュー



### ★「障がい者の性について学びませんか」

2026年5月28日(木) 10:00~12:00

東大阪市文化創造館 参加費 1000円

小西理恵氏 案内はこちら→

(一般社団法人輝き製作所 所長)

主催:NPO法人いちばん星 072-927-3279 (吉川)

### ★小阪病院「ウキウキバザー」

2026年4月28日(火) 13:30~15:00

小阪病院1階ブルーホール

地域生活支援センターふう なないろほ~む他出店

スマートボール、ミニゲーム、ガチャガチャなど



# バリアフリーな街ふせ 今年も大盛況でした。

2026年2月11日に「バリアフリーな街ふせ」を布施駅前商店街の「クリアホール布施」で開催しました。今回で20回目となる本イベントではステージを用意させていただきました。



午後の部では「うえすとさいど第57号（前々号）」でも紹介させて頂き



ました東成区のご当地アイドル「カラドル」のみなさんによるライブステージで舞台を盛り上げていただきました。「はちゃめちゃわちゃライフ!」「バレンタインデーキッス」などのカバー曲、手話振付の「手のひらを太陽に」、オリジナルソング「カラフルリンク」で楽しませていただきました。



午前の部では「うえすとさいど第58号（前号）」で紹介させて頂いた川風亭喜輪（せんぶうていきりん）こと衣川博美さんによる落語です。古典落語「東の旅」をベースにして、布施戎神社に2人の男性が参拝に行く道中を描いたものでした。続いて

「鉄道トーク」で昭和歌謡をもとに創作され、昭和の小ネタも満載の内容に仕上がっていました。（ちょっと時間が長かった…）

昼食の時には会場の端に設置された電子ピアノの演奏をしてくれました。そだちの家まちかどの利用児童である花岡幸寿（はなおか・こうじゅ）くん、花岡功佳（はなおか・こうか）くん兄弟が「オー・シャンゼリゼ」や優里さんの「レオ」を聞かせてくれました。その後、ボランティアの川本杏璃さんが中島みゆきさんの「糸」とLISAさんの「炎（ほむら）」を弾いてくださいました。



さて、今回も地域の作業所に参加いただき、作業所で利用者の皆さんが作った雑貨、パウンドケーキやパンの販売をしていただきました。ハンドクラフトで例年参加いただくリトルアリスはチャームやスティックパルーンづくり、今回から協力いただいたカラーズはカラドルの参加とともに、無料でフェイスペイントやハンドケアのサービスをしていただきました。

今年の来場者数は120名、本法人スタッフ22名の参加でした。みなさまありがとうございました。



昭和印刷

## ふせ支援ネットワーク賛助会員

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 東大阪店舗管理センター | Craftbeer Tavern |
| カットハウスAmi   | 一般社団法人アミュー       |
| 昭和印刷出版株式会社  | アトリエからふる         |

★  
す  
そだちの家まちかど

ダイキャンフでカレー作り

ほくはマキ割り！！

ジェンガは  
グラグラするな…

公園も  
たくさんいきました  
(\*~\*)

こーぼへ行こう！！

4年半のあいだ

カホン演奏中



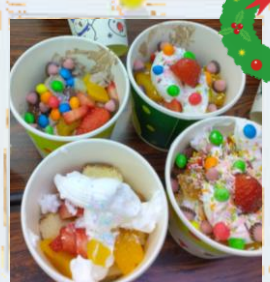
パフェになに入れよう？



100マス計算！  
よーいドン！



お花見



クリスマスパフェ



みんなで工作



ありがとうございました

